

明保中学校

総合的な学習の時間における３年間を見通した『西東京ふるさと探究学習ルーブリック』

探究プロセス	評価の観点 （大観点）	中観点		小観点		評価基準	A	B	C	自己評価 A B C
	課題解決	1	課題設定 （問題発見）	①	探究活動資料の調査	情報を収集する力	図書館やインターネットなどで、探究活動に関する適切な資料を複数集められている。	図書館やインターネットなどで、探究活動に関する適切な資料を集められている。	図書館やインターネットなどで、探究活動の内容に近い資料を最低１つは集められている。	A・B・C
				②	探究活動の問題点の理解	出来事や話題から疑問を見つける力	筋道を立てて考える中で疑問点を見つけ、多くの疑問を作り出している。	筋道を立てて考える中で疑問点を見つけ、疑問を作り出している。	疑問点を見つけ、最低１つは疑問を作り出している。	A・B・C
				③	多くの疑問点を整理	疑問を深めて調べることを決める力	多くの疑問から、筋道を立て、深める内容を適切な数に絞り込むことができている。	多くの疑問から、筋道を立て、深める内容を絞り込むことができている。	考えた疑問から、深める内容を最低１つは絞り込むことができている。	A・B・C
			（研究計画）	①	探究活動計画の立案	どのように疑問点を解決することができるかを見通す力（計画力）	目標を決め、それを解決するための具体的で実現可能な計画を立て、探究活動を開始することができる。	目標を決め、それを解決するための計画を立て、探究活動を開始することができる。	目標を決め、それを解決するための計画を立てたが、探究活動を開始するには課題が残っている。	A・B・C
				②	どのようなデータ・資料を使うか選定	すでにあるデータ・資料を使うのか、新しく調査したデータ・資料を使うのかを選ぶ力。	探究活動計画を見通して、すでにあるデータ・資料を使うのか、新しく調査したデータ・資料を使うのか具体的に実現可能であり、調査可能なものかを選んでいる。	探究活動計画を見通して、すでにあるデータ・資料を使うのか、新しく調査したデータ・資料を使うのかを選んでいる。	すでにあるデータ・資料を使うのか、新しく調査したデータ・資料を使うのを選んでいる。	A・B・C
				③	探究分野で足りない知識の習得	探究分野で足りない知識を習得する力	探究活動計画を立てる際に、不足している知識を必要な数見出し、それを全て習得している。	探究活動計画を立てる際に、不足している知識を一部見出し、それを全て習得している。	探究活動計画を立てる際に、不足している知識を一部見出し、それを最低１つは習得している。	A・B・C
		2	データ（情報）の収集	①	計画に関係するデータの収集	情報を収集する力	地域・企業や書籍、論文等の検索から複数の適切な事例を得ている。	書籍、論文等の検索から適切な事例を得ている。	書籍、論文等の検索から最低１つは類似事例を得ている。	A・B・C
				②	集めたデータを念入りに調べる力	情報収集の範囲を広げたり、収集した内容を深めたりする方法、情報の収集を計画する力	集めた情報から、足りない情報を把握し、深く考察し、具体的な調査の道筋を立て、不備のない実現可能で具体的な情報収集計画を立てることができる。	集めた情報から、足りない情報を把握し、深く考察し、調査の道筋を立て、ある程度の実現可能で具体的な情報収集計画を立てることができる。	集めた情報から、足りない情報の把握と深い考察のうち１つを考慮し、調査の道筋を立て、課題は残るが情報収集計画と認めることができる。	A・B・C
				③	データの整理	収集したデータを、準備したり、整えたりする力	収集した情報を筋道を立てて理解し、課題の必要性を的確に判断し、具体的に妥当な情報の整備をしている。	収集した情報を筋道を立てて理解し、課題の必要性を判断し、情報の整備をしている。	収集した情報を理解し、課題の必要性を判断し、情報の整備をしている。	A・B・C
		3	整理・分析	①	表やグラフの作成	統計処理のために収集したデータを整理・分析し、目的に合った表やグラフを作成する力（統計処理力）	統計処理のために収集した情報やデータを筋道を立てて整理・分析し、目的に整合したグラフを作成している。	統計処理のために収集した情報やデータを筋道を立てて整理・分析し、目的とするものが分かるグラフを作成している。	統計処理のために収集した情報やデータ整理・分析し、グラフを作成している。	A・B・C
				②	問題点の分析	比較、分類、関連付け、多面的にみるなどの思考する力（分析力）	情報やデータを筋道を立てて、比較、分類、関連付け、多面的にみるなどの思考が、必要な項目全てできている。	情報やデータを筋道を立てて、比較、分類、関連付け、多面的にみるなどの思考が、必要な項目のうち２つ以上できている。	情報やデータを筋道を立てて、比較、分類、関連付け、多面的にみるなどの思考が、最低１つはできている。	A・B・C
				③	分析結果の検証・考察	分析結果から因果関係などを見つける力（考察力）	情報やデータの分析結果から、論理的に、因果関係などを導き出し、必要に応じて活用できている。	情報やデータの分析結果から、筋道を立てて因果関係などを２つ以上見出している。	情報やデータの分析結果から、因果関係などを最低１つは見出している。	A・B・C

探究プロセス	評価の観点 （大観点）	中観点		小観点	評価基準	A	B	C	自己評価 A B C	
	結論	4	結論 （まとめ・表現）	①	分析結果のまとめ	得られたデータを客観的に解釈し、情報から主張を作る力	得られたデータから客観的に解釈し、分析した情報やデータの解析結果から筋道を立てた主張を必要数つuckingことができる。	得られたデータから客観的に解釈し、分析した情報やデータの解析結果から筋道を立てた主張を2つ以上つuckingことができる。	分析した情報やデータの解析結果から主張を最低1つはつuckingことができる。	A B C
				②	レポートの作成 （著作権への配慮）	著作権に配慮し、説得力のある伝え方、主張と根拠の間を筋道を立てて考える力、不要な情報を捨てる力、自己成果の不足に気付く力 （報告書作成力）	著作権に配慮し、説得力のある伝え方、主張と根拠の間を筋道を立てて考える力、不要な情報を捨てる力、自己成果の不足に気付く力が十分に身に付いている。	著作権に配慮し、説得力のある伝え方、主張と根拠の間を筋道を立てて考える力、不要な情報を捨てる力、自己成果の不足に気付く力が2つ以上は身に付いている。	著作権に配慮し、説得力のある伝え方、主張と根拠の間を筋道を立てて考える力、不要な情報を捨てる力、自己成果の不足に気付く力が最低1つは身に付いている。	A B C
				③	発表と討論	反論を想定する力、反論に対処する力、コメントや質問を理解する力 （発表、コミュニケーション力）	反論を想定する力、反論に対処する力、コメントや質問を理解する力が十分に身に付いている。	反論を想定する力、反論に対処する力、コメントや質問を理解する力が2つ以上は身に付いている。	反論を想定する力、反論に対処する力、コメントや質問を理解する力が最低1つは身に付いている。	A B C
これまでの観 点の振り返り				①	これまでの観 点の振り返り	探究のプロセス（過程）を振り返る力 （自己分析力）	この観点全体を見渡し、探究のプロセス（過程）を筋道を立てて振り返ることができる。	この観点の一部について、探究のプロセス（過程）を筋道を立てて振り返ることができる。	この観点を通して、探究のプロセス（過程）を振り返ることができる。	A B C
					地域への愛着		この観点全体を見渡し、西東京市の伝統や文化のすばらしさについて振り返り、理解することができる。	この観点の一部について、西東京市の伝統や文化のすばらしさについて振り返り、理解することができる。	この観点を通して、西東京市の伝統や文化のすばらしさについて振り返ることができる。	A B C
				②	新たなアイデア	次につながる課題を見つける力 （考え方を更新する力）	この観点全体を見渡し、現時点での探究結果をもとに、次につながる課題を筋道を立てて複数個見出している。	この観点の一部について、現時点での探究結果をもとに、次につながる課題を筋道を立てて2つ以上は見出している。	この観点を通して、現時点での探究結果をもとに、次につながる課題を最低1つは見出している。	A B C
					地域への誇り		この観点全体を見渡し、西東京市の一員として、伝統の継承や文化の創造について、どのように関わるかを具体的に考えている。	この観点の一部について、西東京市の一員として、伝統の継承や文化の創造について、どのように関わるかを具体的に考えている。	この観点を通して、西東京市の一員として、伝統の継承や文化の創造について、どのように関わるかを考えている。	A B C
				③	情報の共有	情報を共有する力 （コミュニケーション力）	グループ全員が、適切にコミュニケーションを取れており、具体的な情報を共有する方法を見出し、探究に関する情報を十分に共有している。	グループ全員が、適切にコミュニケーションを取れており、具体的な情報を共有する方法を見出し、探究に関する情報をある程度共有している。	グループ全員が、適切にコミュニケーションを取れており、探究に関する情報をある程度共有している。	A B C